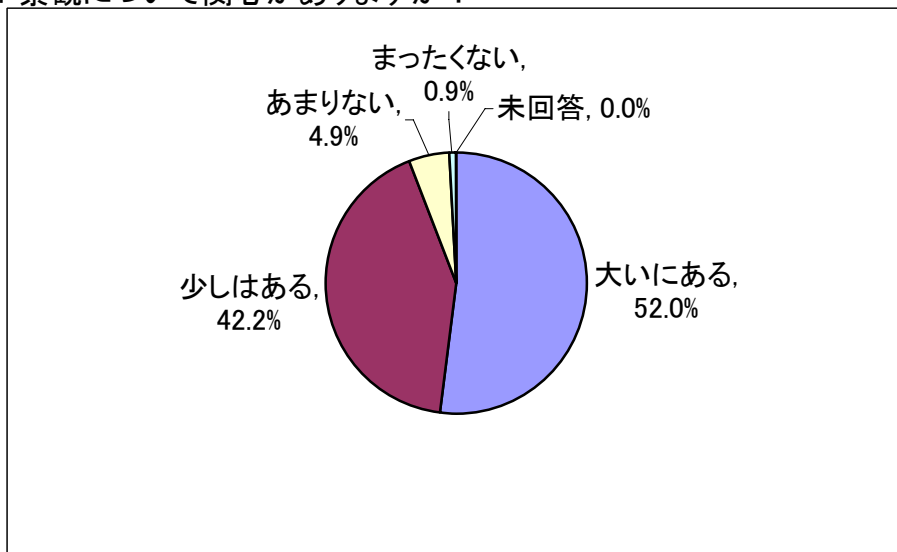


景観意識アンケート集計結果

実施期間 平成19年9月3日～9月20日

回答数 223件

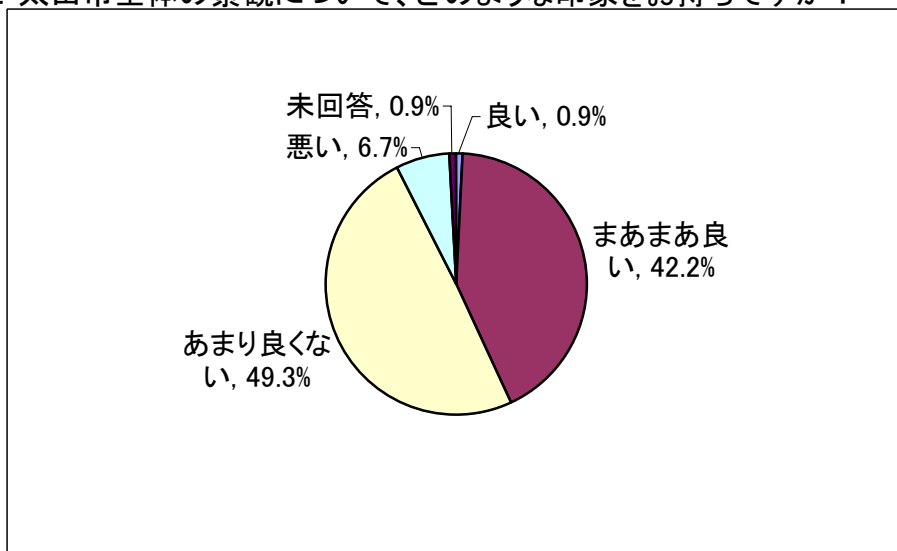
1. 景観について関心がありますか？



「大いにある」「少しはある」を併せると、94.2%の方が「関心がある」という結果になりました。

もともと、アンケートにお答えしていただいた方は、「関心があるから回答した。」とすることもできますが、それにしても多くの方に関心を持っていただいているものと考えられます。

2. 太田市全体の景観について、どのような印象をお持ちですか？

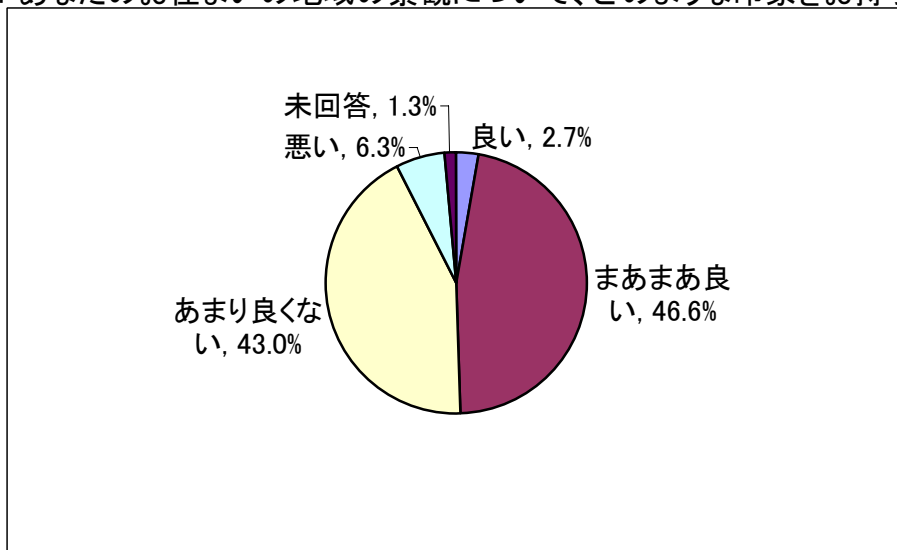


景観の印象について、太田市全体については「あまり良くない」が、あなたのお住まいの地域については「まあまあ良い」がもっとも多い意見でした。

これについては「自分の周りは良いが、市内には悪いところがある。」と考えることもできます。

しかし、「良い」「悪い」とはっきり回答した人は少なく、どちらも大差なく半々程度の割合であることから、「全体に比べると自分の周りはいいのではないか。」というちょっとしたイメージの差とも考えることができます。

3. あなたのお住まいの地域の景観について、どのような印象をお持ちですか？



4. 太田市の景観を保全・改善するためのルールが必要だと思いますか？

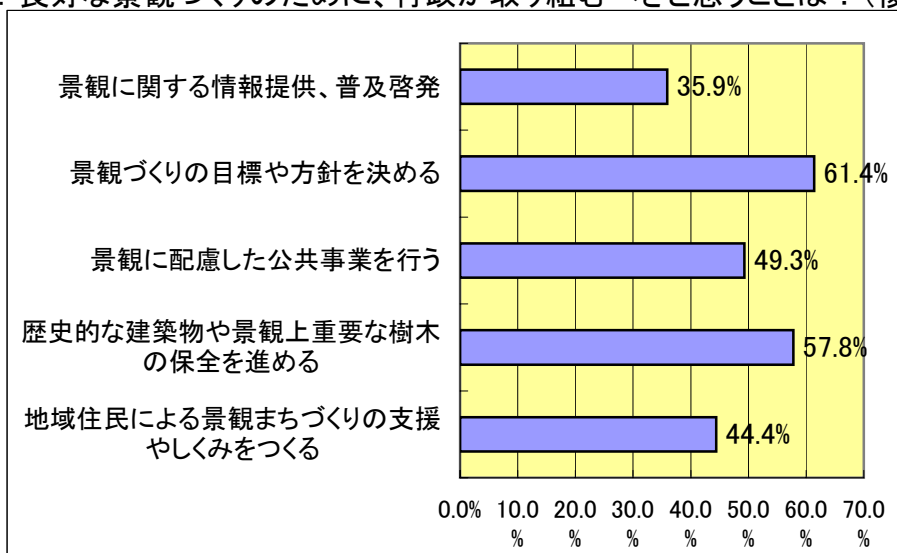


ルールに関しては「必要である」「ある程度は必要」が98.7%の方が、何らかのルールづくりが必要と考えています。

現在、群馬県の景観条例、屋外広告物条例で届出などを行っています。周知率が低いか、太田市の現状にはあっていないように感じている方が多いようです。

しかし、半数近くの方が「ある程度…」と答えていることから、どの程度のルールにしていくかは、これからの課題になりそうです。

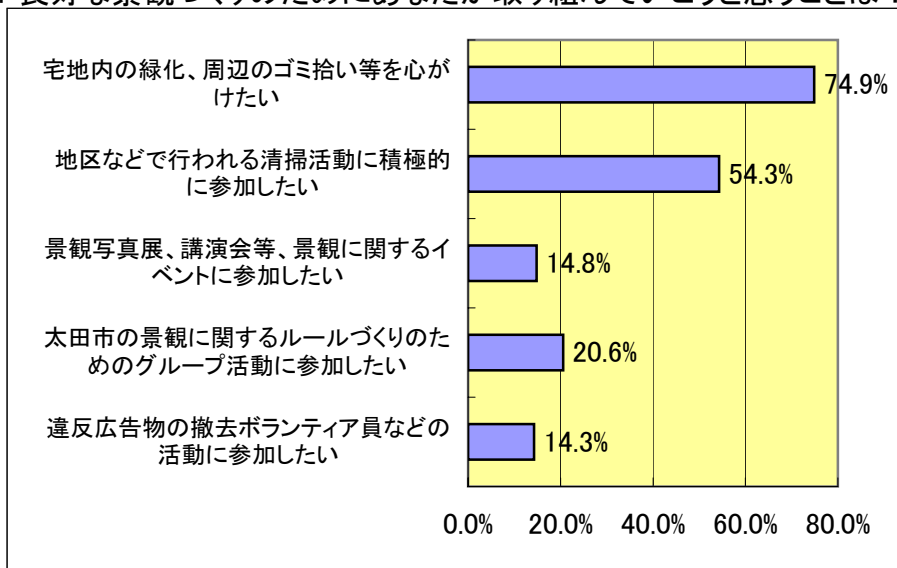
5. 良好な景観づくりのために、行政が取り組むべきと思うことは？（複数可）



「景観づくりの目標や方針を決める」が最も多く、「歴史的な建築物や景観上重要な樹木の保全を進める」が続きます。

しかし、他の選択肢に関しても決して少ないとは言えず、上の2件を中心とし、すべての選択肢に関し、実施していくことが望ましい結果と考えられます。

6. 良好な景観づくりのためにあなたが取り組んでいこうと思うことは？（複数可）

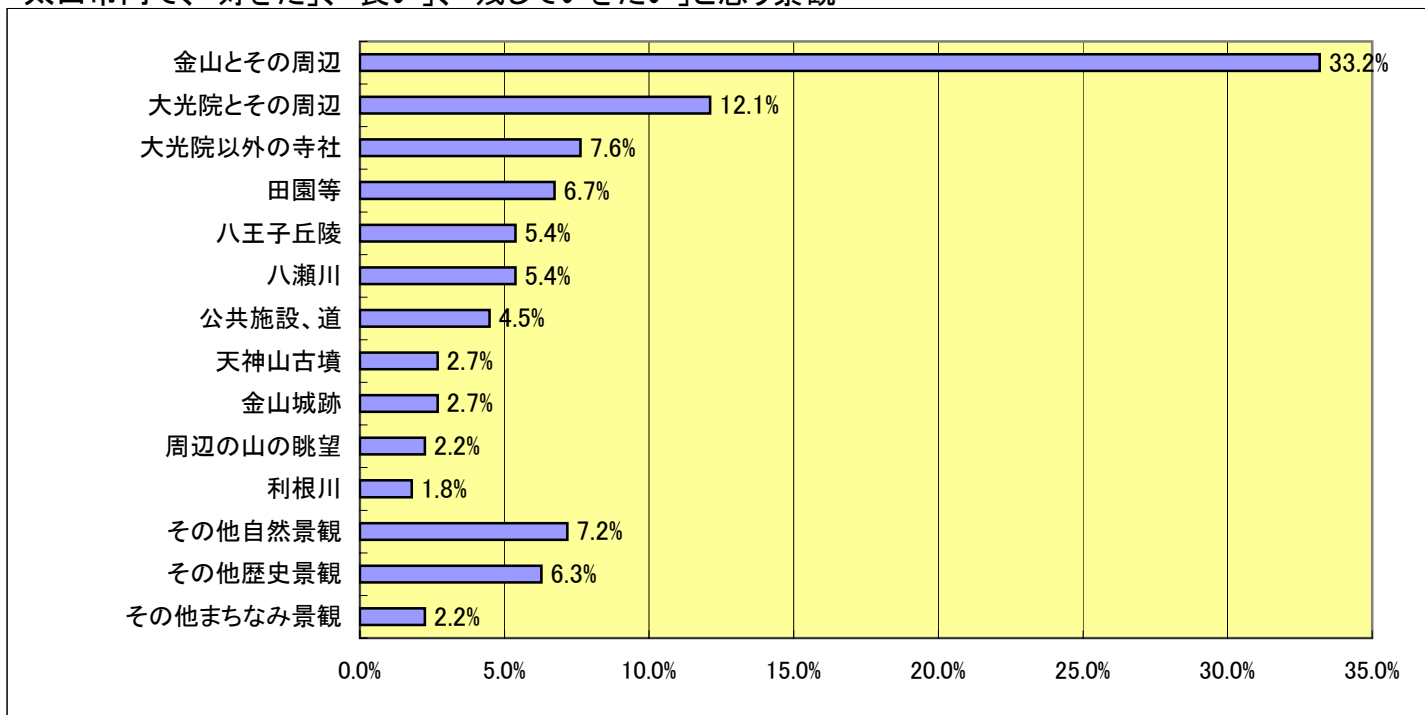


「宅地の緑地化、周辺のゴミ拾い等を心がけたい」、「地区などで行われる清掃活動に積極的に参加したい」の2つは、以前から行っていることでもあり、多くの方が取り組んでいこうと思っていることがわかりました。

他の3つは、少なく感じるかもしれませんが、内容を考えると決して少ないと思われず、

少なくとも、景観に関して言えば、魅力のあるイベントや参加しやすいグループ活動、ボランティア活動には参加したいと考えている人が少なくないと考えても良いのではないのでしょうか。

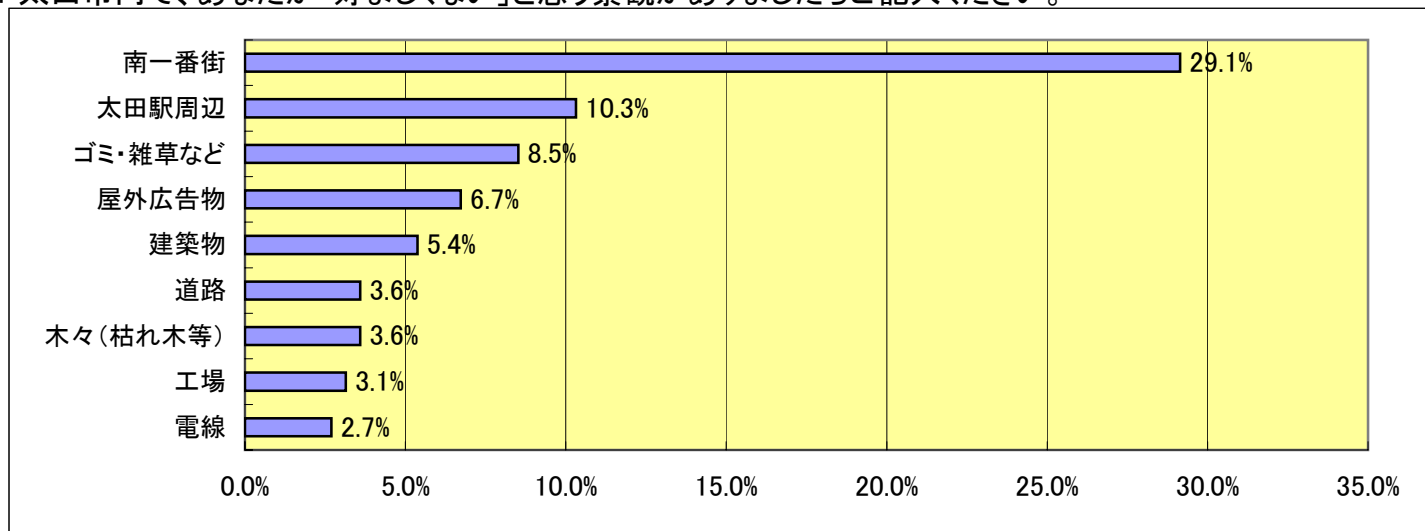
太田市内で、「好きだ」、「良い」、「残していきたい」と思う景観



好ましい景観に関しては、金山とその周辺が圧倒的に多く、大光院とその周辺や金山城址も金山とその周辺と考えることができますし、八瀬川、大光院以外の寺社に関しても金山周辺の箇所をあげた人が多く、大きな意味で金山とその周辺としてみると、過半数の人があげた結果になります。

自然、歴史、まちなみと景観を大きく区分すると、自然景観が61.9%と最も多く、続いて歴史的景観が31.4%、まちなみ景観が6.7%という結果になりました。

8. 太田市内で、あなたが「好ましくない」と思う景観がありましたらご記入ください。



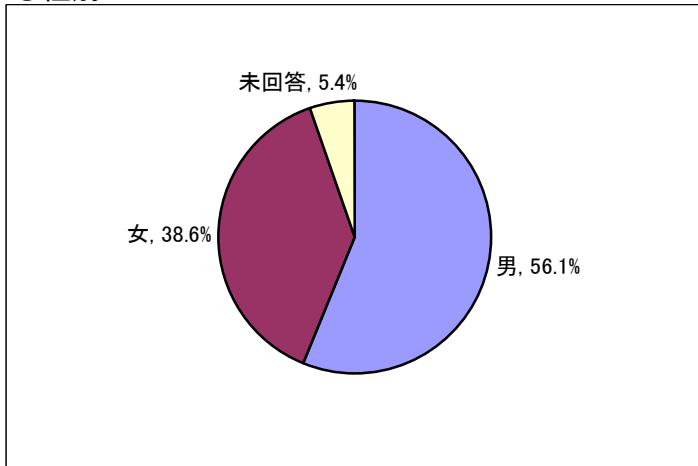
好ましくない景観は、南一番街が29.1%と最も多い結果となりました。太田駅周辺やゴミ・雑草など、屋外広告物、建築物なども太田駅周辺から南一番街をあげた人がおり、半数近くの人が、「好ましくない」とあげたこととなります。

自然、歴史、まちなみと景観を大きく区分すると、自然景観が9.0%、歴史的景観が0.9%に対し、まちなみ景観が63.2%と最も多いという結果になりました。

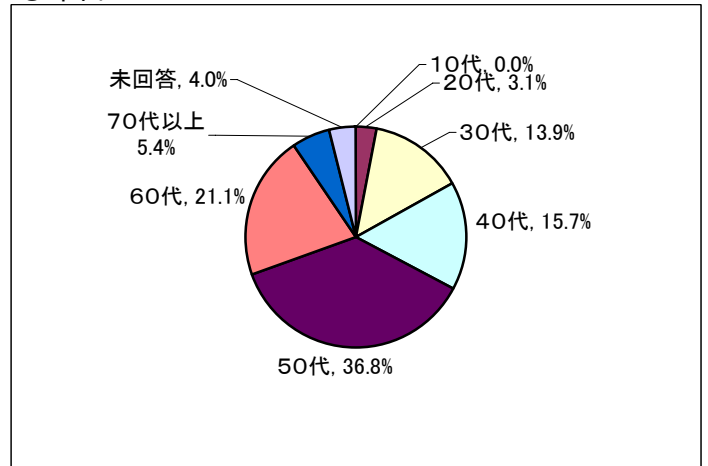


9. あなた自身について伺います。

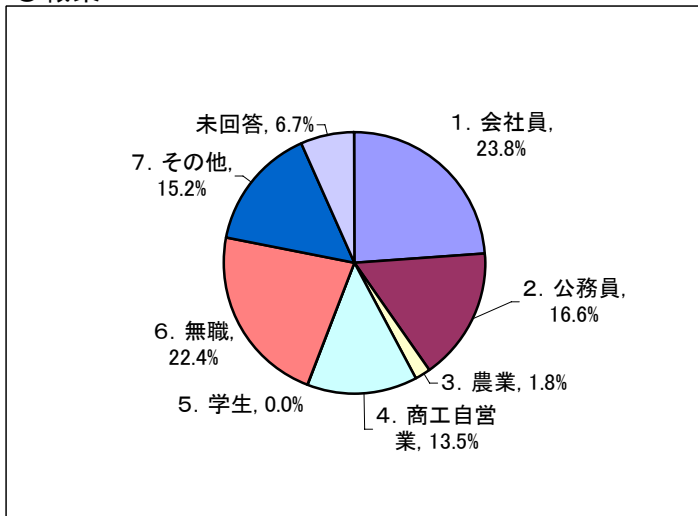
○性別



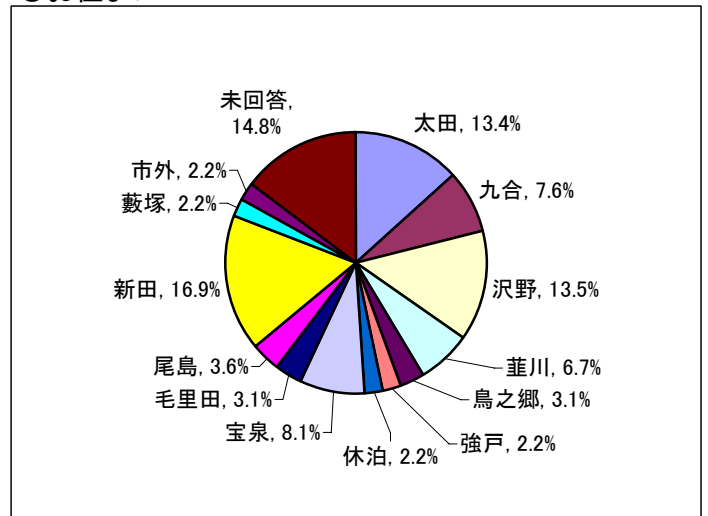
○年代



○職業



○お住まい



10. 太田市の景観に関して何か意見やアイデアがありましたらお聞かせください。

(1) 公共事業

最も多かったご意見が公共事業に関するものです。歩道・サイクリングロードの整備、緑化の推進、電線の地中化など道路に関する意見が多く、他には、河岸、公園などのご意見がありました。

(2) 景観計画

次に多かったのは、景観計画に関するものです。特に多かったのは、「太田市らしさ(個性・特徴)を活かし、中心に据えて取り組むべき。」というものです。環境問題や観光・産業振興との連携など複合的な計画策定への期待も複数寄せられました。

(3) 駅周辺景観

駅周辺景観に関しても多くのご意見をいただきました。南一番街の派手な看板や夜歩きづらいなどの指摘や北口も南口と同様に整備して欲しいなどのご意見がありました。

(4) ルールづくり

ルールづくりの中で多かったのは、屋外広告物に関するご意見でした。その他では、緑化率の設定や建物の高さなどがあり、特別な規制を行うところには補助するというご意見もありました。

(5) 歴史景観

特に大光院周辺に関して、周辺整備の方法やもっとアピールした方がよいなど多くのご意見をいただきました。

(6) 市民活動支援

行政区を中心としたの活動に関し、景観に関する取り組みに対する支援を求めるご意見やコンペの実施などありました。ワークショップやグループ作りなどのご意見も寄せられました。

(7) その他の意見

啓発活動に関して、他の自治体の取り組みの紹介や意見交換会の実施、こまめな情報提供などがあまりました。

遊休農地の雑草などの問題に関してのご意見をいただきました。

最後に

太田市は、平成19年9月1日をもって、「景観行政団体」になりました。

今後、景観計画を策定し、景観条例、屋外広告物条例を制定していくこととなりますが、景観は五感をとおして感じることであるため、今回のアンケートは非常に参考になるものと考えております。

今回ご協力くださいました大勢のみなさま、貴重なご意見を誠にありがとうございました。